

教科 音楽

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（相互評価表、ワーク等） ③実技テスト（歌唱、器楽等）
④定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。				
観 点	学習活動	① 授 業 観 察	② 提 出 物	③ 実 技 テ ス ト	④ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
	知識及び技能	○	○	◎	◎	音楽を形づくっている要素、音楽の構造や背景などの基本的知識の理解をしているか、音楽表現をするための必要な技能を身につけているか
	思考力・判断力・表現力等	○	○	◎	◎	音楽を形づくっている要素同士の関連を知覚したり、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたりしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現を考えているか、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いているか
	学びに向かう力・人間性等	◎	◎	◎	◎	主体的・協働的に学習活動に取り組んでいるか
	感性・思いやり	個人内評価			各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など	

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。
- ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。